



# 緑のまち

第26号 平成12年10月27日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191-0016 東京都日野市神明2-13-1  
電話 042(585)4740



日野市立仲田小学校

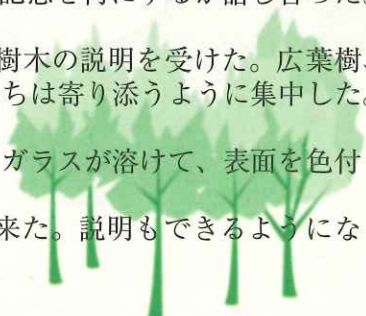
平成11年度卒業の日野市立仲田小学校の6年生、52人が集まって、卒業記念を何にするか話し合った。『心を残そう、次の人のために』と樹木のプレートを残すことにした。

はじめに、元東京都みどりの推進委員の右田実さんから、学校にある樹木の説明を受けた。広葉樹、針葉樹のこと、葉脈のこと等、樹木に対する愛情あふれる話に、子どもたちは寄り添うように集中した。普段、何の木だろうと見ていた樹木の名前も分かった。

縦10cm、横23cmの素焼きのネームプレート、20種類が樹に掛けられた。ガラスが溶けて、表面を色付けしている。

子どもたちは、プレートを付けたことで、樹木に対する愛情が沸いて来た。説明もできるようになった。

卒業をまじかにして、仲田小学校の全ての樹木の名前が分かった。



# 平成11年度 事業報告・収支決算

## 1 緑化推進に関する普及啓発事業

- ①春の緑化月間（花と緑の健康相談 26件）
- ②緑の募金運動（募金総額 2,600,000円）
- ③緑化講習会（13回開催 延べ383名参加）
- ④夏休み子供昆虫教室（41名参加）
- ⑤会報「緑のまち」発行（年2回）
- ⑥エコ・シティ月間行事（公園及び地域清掃の日154団体参加）
- ⑦応募作文による作文集作成（19校734編応募）



昆虫教室（みんな真剣です。）

## 2 緑化推進に関する事業活動

- ①花の里親・里子運動（里親245名・種子850袋）
- ②公共施設等の花卉植付
- ③菊花栽培事業（カサ菊、ポットマム・スプレー菊の栽培及び配布）
- ④募金運動によるサクラの植樹（大島ザクラ 10本植栽）



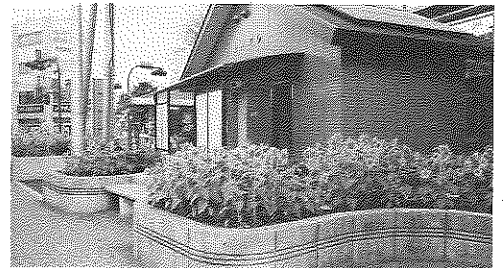
サクラ植樹（皆様のおかげで花が咲きました！）

## 3 緑化推進に関する調査・研究

高幡台団地入口の法面の緑化について

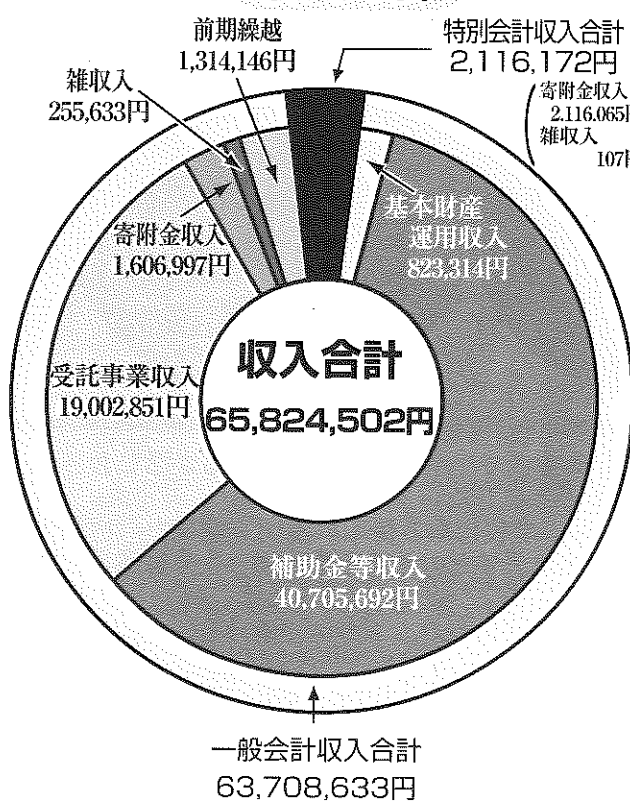
## 4 受託事業

公園清掃等管理事業（103公園実施）ほか

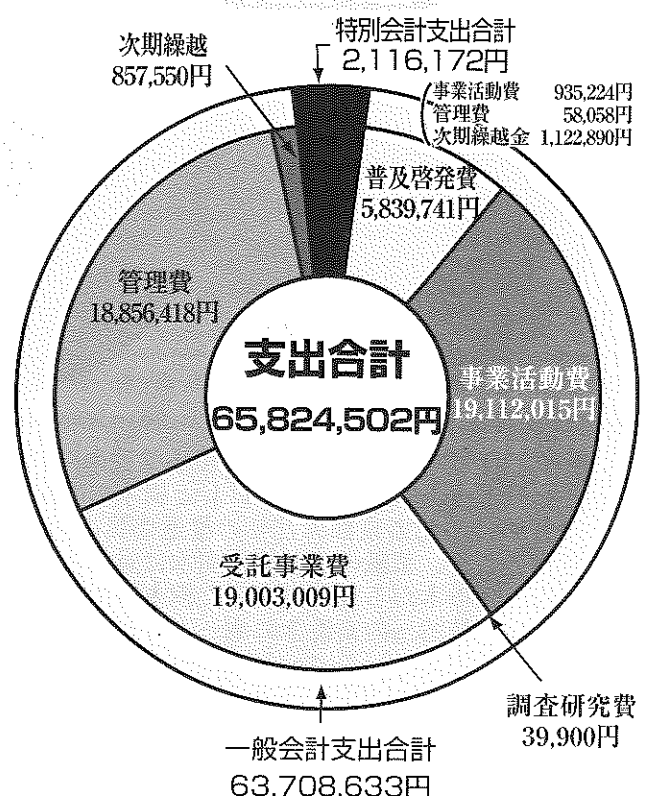


花卉植付（トイレの名にちなんでひまわりを植栽。）

### 収入の部



### 支出の部



# 雨水は資源

子どもの頃の家の手伝いが水酌みだったという人もいる。水酌みは生活の一部で、日に何度も往復したことがある。今では、水の貴重さも、一日に、どれほど、水道水を使っているかも実感できなくなった。雨は、都市の中では邪魔者扱いされるが、積極的に雨水利用に取り組んでいるまちもある。墨田区を訪れた。

## 雨水利用のはじまり

東京の下水道は50mmの雨が降っても、耐えられるように作られてはいる。ただ、半分以上が地面に染み込んでくれるとの前提に立っている。コンクリート・アスファルトで地面

の80%も覆われて来ると、少しの雨でも、たちまち、マンホールから汚水が漏れ出す。

毎回、洪水後、墨田区保健所の職員が消毒に出動するうち、洪水対策の研究グループ活動を始めた。『都市洪水は、雨を捨てるから起こるのではないか。溜めて、利用したらどうか』との話になった。

昭和57年、都市型洪水の多発地域に、国技館建設の話があがった。墨田区は、日本相撲協会に雨水利用の導入を働きかけた。国技館の屋根8、400㎡。降る雨は、地下にある1,000㎡のタンクに溜められ、トイレや冷房用冷却水として使用されている。法律も社会的認知もない中で働きかけであった。そのことが、区自身にも、庁舎他18か所の雨水利用施設を建設させるきっかけとなった。

## 墨田区の雨

墨田区には、年間2,000万㎡の雨が降る。

庁舎の雨水の取り入れ口である屋上に登る。約5,000㎡の広さがある。30cm角のタイルが敷き詰められている。タイルの下は10cmほどの高さの空洞になっている。目地にはモルタルが塗ってない。降った雨は、目地を抜け、下を流れ、ドレインを通過して、地下の1,000㎡の雨水貯留槽に向かう。一気に、水が行くとタンクが濁るので、屋上に一旦溜め、徐々に送っている。建物の地下には不要の空間ができる。そこを防水加工して雨水貯留槽として使用している。沈殿層ではこりや砂を沈殿させてから、きれいな水をタンクに送る。水はトイレの洗浄水に使用している。すべては自動制御で動いている。年間、雨水は水道水の4割、200万円の料金を賄っている。平成4年に雨水設備を導入した印刷会社の建物は、7年で採算を合わせている。

地下で、汲み上げた雨水を見せてもらう。コップの中の水は、冷たく透明で飲み水そのものに見える。向島は被災でも残った地区で、道が狭く、

路地が入り組んでいる。

「路地専」とは地域の防災施設のことだ。日常は広場になり、災害時は避難路として使用する。隣家の樋から雨水を防火水槽（10㎡）に引き入れている。アイディアは住民から出た物で、昭和30年代の井戸端会議をイメージして作られている。手押しポンプあり、黒塀あり、街灯も白熱球。横には、昔の木製のリサイクルゴミ箱が置かれている。水は誰が使ってもよく、花や植木の水やり、子どもの遊びに使われる。水槽は溜まり水ではなく、常時、新しい雨水が入るため、非常時には飲み水としても使用できる。

## 水は貴重

墨田区の雨水利用への取り組みには、3つの柱がある。

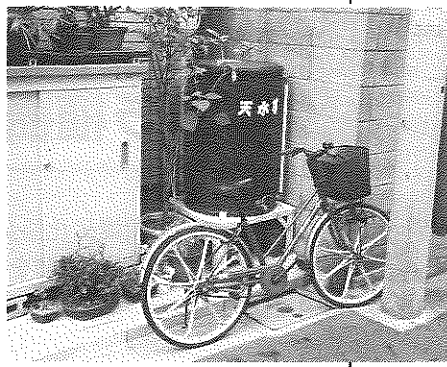
- ① 上流のダムに頼らない、自前水源をつくる。
- ② 雨水を溜めて、都市型洪水を防止する。
- ③ 災害時の身近な水源を確保の3つである。

降った雨は、立て樋の内側を伝わって流れて行く。樋の途中を切り取って、ドーナツ型の環を取り付けると、簡単に分流できる。120ℓの天水尊（タンク）に溜めて、家庭で

利用されている。水が一杯になると、ドーナツの穴から勝手に流れて行く。タンクの下に泥除けコックも付いている。溜めた水は植物の水やり等に使われる。

12業者が、大きさもデザインも違うタンクを家庭用に用意している。1台5万円前後。区は、平成7年から限度額100万円の助成をするようになった。130戸の家庭に普及している。大型のタンクを取り付けて、トイレの洗浄に使っている家もある。

水洗は、1回に13ℓ15ℓの水道水を使用する。家族が4、5人いれば100ℓのタンクでも足りない。4家族で、水道水を1日約79ℓ使用し、トイレはその約22%にもあたる。雨水利用者の9割が『水を貴重に思い、大事に使うようになった』と応えている。誰もが蛇口の先は見えない。雨水を使うことで、水は、人の目に入ってくる。



## 公園及び地域清掃の日 11月26日(日) 午前9時～正午 公園、緑地、広場等市内全域

★自治会、老人クラブ、こども会等の皆さんのご協力により、市内全域で一斉に清掃を行ないます。  
○当日はそれぞれのリーダーの指示に従ってください。

## 手作り クリスマスリース講習会 11月28日(火) 午後2時～4時 会場 (財)日野市環境緑化協会 (日野中央公園南側)

ドライではなく、生のフレッシュな素材(ヒバ、モミ、スギ)を使って、クリスマスリースを作ります。

定員 25人

講師 宮本恵子氏(グリーンアドバイザー)

費用 3,000円(材料費)

申込み 11月20日(月)(必着)までに、往復ハガキで。往信用裏面に講習会名、住所、氏名、電話番号を、返信用表面に住所、氏名を記入し、(財)日野市環境緑化協会(〒191-0016 日野市神明2-13-1)へ

うるおいを!

# ご参加ください。

期間 平成12年10月30日～12月4日 主催：日野市・(財)日野市環境緑化協会

## 市内の公園の落葉で腐葉土や堆肥を作りませんか

秋になると、公園にはたくさんの枯れ葉が落ちます。その落葉を自分で掃いて、腐葉土や堆肥を作りませんか。花づくり、野菜づくりに十分役立たせることができます。

申込み 往復ハガキで。往信用裏面に落葉掃きを希望する公園名、住所、氏名、電話番号を、返信用表面に住所、氏名を記入し、(財)日野市環境緑化協会(〒191-0016 日野市神明2-13-1)へ

## サクラ植樹募金運動

(財)日野市環境緑化協会では、日野橋下流の多摩川の堤防敷きに、桜の苗木を植えるための募金活動を行っています。桜の根が堤防を傷めないようにする補強工事にお金がかかります。皆さんのご協力をお願いいたします。

問合せ先 (財)日野市環境緑化協会 (☎585-4740)

## 菊花展

◆ ポットマム、スプレー菊、大菊、懸崖のほか珍しい菊も展示します。日野市の花「菊」の香りいっぱいの会場へ、お誘い合わせの上おでかけください。

- **配布苗菊花コンテスト** 11月1日(水)～11月8日(水) 市民プラザ(市庁舎前)  
★小学校の部、老人クラブの部、市民一般の部に分け、それぞれ丹精込めた作品を展示します。  
市民の皆様配布した菊苗のきれいに咲いた姿をご覧ください。
- **表彰式** 11月8日(水) 午後2時～ 市民プラザ(市庁舎前)  
★コンテスト参加作品のうち日野市長賞、協会理事長賞等36点を表彰します。
- **古典菊、大菊の展示** 10月25日(水)～11月30日(木) 市民ホール(市役所1階)  
★中菊の肥後菊、嵯峨菊、江戸菊等めずらしい菊や大菊など約100点を展示します。
- **菊友会菊花展** 10月28日(土)～11月7日(火) 市民プラザ(市庁舎前)  
★菊づくりのベテランによる盆養、達磨、福助、切り花等みごとな花をご覧ください。

# テーマ：まちに緑と清流を！くらしに花と 秋の緑化月間行事に

**自然観察会** 11月5日(日) 午前9時30分～正午 百草園駅に9時15分集合 \*雨天実施

今回は百草園駅に集まってから、日野の中でも自然が残っている百草地区での観察会です。

定員 先着50人 申込み 事前に電話で。(財)日野市環境緑化協会(☎585-4740)へ

**緑の写真展** 11月20日(月)～12月4日(月) (土、日、祝日は除く)  
午前8時30分～午後5時 市役所1階市民ホール

★市内のいろいろな緑が見られる写真展です。

○テーマ1 「日野の四季」は市内の緑や緑のある生活風景等です。日野の自然がみせる四季折々の姿を展示します。

○テーマ2 「わが家のみどり」「わが家では、こんなにきれいに咲きました。」「ちょっと記念に1枚」など、身近な緑の写真を展示します。

○11月6日(月)まで作品を募集しています。出品については、8面の別掲載の記事をご覧ください。

# 蛍が

## 手にとまったよ

日野市立平山台小学校

金子 祐輔

「きょうも観覧車の電気がつかないよ。」と、三歳の弟が多摩テックの方を見て言う日が六月の中ごろから一カ月ぐらい続きました。一年中夕方になるときれいに光る観覧車の電気が、どうしてつかないのだろう、と僕も不思議でした。そのうちお父さんが、「わかつたよ、電気がつかないわけが。」と話してくれました。

多摩テックの近くに蛍の生息する場所があって、蛍が飛び始めるころに観覧車の電気がついてしまうと、蛍が驚いて飛ばなくなってしまうそうです。蛍を保護する人達の運動でその時期は電気をつけないそうです。

さっそく、ぼくはお父さんと蛍の出る場所をさがしに行きました。わき水の出るきれいな沢やその水をひいている田んぼです。そういう所には蛍のえさになるカワニナがいるからです。映画『となりのトトロ』に出てくる森のようなどころを通っていくと、蛍に出る場所がありました。

それから毎日、ぼくは塾の帰りに、迎えに来てくれるお父さんと蛍を見に行きました。暑すぎる熱帯夜や雨の日は、蛍は飛んでいませんが、何回かたくさん飛んでいることがありました。ポーツ、ポーツとあちこちで光っている様子は、星が降ってくるみたいで、まるで夢のようで、蛍が手にとまったときは、ぼくはもう胸がドキドキしてしまいました。

弟が小学校に通う頃も、今と変わらないでいてほしいな、と思います。

## 緑豊かな日野の町

日野市立程久保小学校

岡 千里

水のきれいなところにしか蛍は生きられません。そして水がきれいなところは、必ず緑が美しいということをぼくは知りました。水と緑が豊かだと、人も虫達も豊かに暮らせるんだということが、初めてわかったような気がしました。

八月半ば、私は眼鏡を作り、百草にある眼科を訪ねました。眼鏡の度を合わせてしばらく付近を歩いてみるようにと言われ、わずか十五分程ですが杉野幼稚園の裏手を散歩してみることにしました。

私の家にも二坪程の小さな庭があります。水仙、チューリップ、沈下花、ユリ、あじさい、さくら草、矢車草、マリゴールド等々、順々に咲くように近くに住む祖母が、種や球根をまいていつてくれました。花の少ない時期は、鉢植えのインパチエンス、ポーチュラカが咲いて楽しませてくれます。こういう小さな花々でも心をなごませてくれるのですから、大きな木や林や森がどんなにか人々に安らぎを与えてくれるかがわかります。

私達は、身近にある花や木を大切にすることで、大きな木や林や森は市が管理すること、残された日野の自然を私達の将来の為に維持していつてもらいたいと思います。まもなくできる新しいめがねをかけて、夏のおわりにもう一度杉野の方へ出かけてみるつもりです。

## 栽培委員会で活動

日野市立日野第三小学校

小池 啓太

私は、五年、六年と二年続けて、栽培委員会に入って活動しています。

何故、この委員会に入ったのかと言うと、甲府のおじいちゃん、毎年ベランダで栽培している野菜をずっと見て育ったのが、一つのきっかけになったと思います。

春に野菜の種をプランターにまいて、毎日かさず水やり。取っても取っても生えてくる草との戦いの末、おじいちゃんが丹精こめて育てた、ミニトマト、なす、ピーマン、

迎の住宅地にも確かにまだ緑は残っています。程久保に育った父が「昔は山中を使って野球や缶けりをした。」とよく話します。今はもうすっかりその山も宅地化されましたが、きれいな花を植え、木々の手入れに励んでいるご近所の人達を見ると、自然を大切にしようとしている気持ちを感じられます。

蛍が出る場所は、ぼくが通う平山台小学校のすぐ裏で、小学校は緑に囲まれています。ぼくは昆虫や水に住む生き物が大好きなので、自然がいっぱいのこの町も大好きです。

私の住む三井台地区、隣の程久保地区、そして小学校周

身近にある「緑の豊かさ」こそが、子ども達に様々な経験をさせ、深い感性と確かなる自己を育てています。

市内の小学校6年生を対象にした、作文募集「緑のまち」に19校733編の応募がありました。優秀賞10編の中から5編を紹介いたします。

## 私達

### からの

### 提案

身近にある「緑の豊かさ」こそが、子ども達に様々な経験をさせ、深い感性と確かなる自己を育てています。

市内の小学校6年生を対象にした、作文募集「緑のまち」に19校733編の応募がありました。優秀賞10編の中から5編を紹介いたします。

ねぎはそれはそれは、とてもおいしいです。おばあちゃん自慢の一言、うちの野菜は無農薬だからねえ、安心して食べられます。小さい時、僕はこの野菜が大嫌いでしたが、やっとならぶられるようになり

ました。今では、送って来てくれる日を楽しみにしています。その喜びがわかって僕も何か育ててみたいという気持ちになって、栽培委員会で活動してありますが、昨年校庭で育てた『菊』の花は、日野市長賞をいただきました。

『菊』の花作りで苦労した事は、重い土をリヤカーで運んだ時で、僕にとつて初めての経験でしたから大変でした。土作りに始まり、花を咲かせるまで毎日の水やりも大変でしたが、美しく咲いた花を見た時は、感慨無量だった事を思い出します。

今までは、それほど、季節の移り変わりをあまり意識していませんでしたが、春の桜やチューリップ、夏のひまわり、朝顔、秋のコスモス、春先の学校の裏山で見かけるカタクリと、前よりたくさんの花の名前を覚えられた事と作る喜びが実感できた事で、この委員会に入って良かったと思っ

ています。そして、この

先、ずっと自然を愛していきたいです。

## ぼくの ふうせんカズラ

日野市立南平小学校

飯塚 真之

ぼくは、ふうせんカズラの花が咲いた時は、すごくうれしかった。白くて小さい、5ミリメートルぐらいしかなく、たけど、とてもかわいかった。二月にふうせんカズラの種を植えた。ぼくは芽が出なかつたらしようがないという気持ちだったけれどやっばり芽は出て欲しかった。

五月になって、ふうせんカズラの芽が出た時はすごくうれしかった。それから毎日をあげた。つるがのびてきた時、支柱をつけて倒れないようにした。大雨の時は、心配だった。面白いことに夜になると、葉がしおれて、枯れたのかと思つたが、朝になって見るとなおっている。不思議だなあと思つた。でも、これは人にわからないふうせんカズラの知恵だと思つた。

六月になって、ふうせんカズラの実がなった。とってもうれしかった。実には緑で二つなつていた。実の中には空気

が入っていておすとプニョプニョで、方言では、バクダンというらしい。強くおすと、パンと音がなるからだ。でもバクダンではかわいそう。

七月になって実が茶色くなつて外のからを破ってみると、中にはふくろが三つに分かれていて、その中に一つずつ種が入っていた。ぼくは、よくできているなあと思つた。小さいふうせんカズラには二つしか入っていないなかつたけれど、種には白くハートマークがあり、あとは真つ黒だった。

八月から、どんどん実ができて、茶色い実、若い実、どっちも家のなかにかざつた。種は友達にあげたりした。まだまだ元気に育っている。ぼくのふうせんカズラは、毎日毎日ぼくを乐しませてくれ、その上毎朝、家族の会話の中心になつている。この小さな緑は、僕にたくさんのものを与えてくれた。だから日野市がもつともつとたくさんの緑におおわれたらみんながやさしくなると思う。

## 長いアサガオ

日野市立南平小学校

元橋 佳織

わたしの部屋は二階で、毎年その窓の下には、元気に育つアサガオがいつぱい咲いています。そのアサガオは、母が大切に育てている花なのです。アサガオのもとをたどると、わたしが一年生のときに育てたアサガオの花なのです。その花は、種から育つて花になり、花から種ができて、また育つて……。というように、繰り返して育つていきました。「いつまで寝てるの、早く起きなさい。」という母の声に起きて、雨戸を開けました。そして、窓の下には、たくさんのアサガオがいつぱい咲いていて、今でも二階にのぼってくるような勢いで育つていました。わたしは、目が飛び出してしまひそうでした。わたしは、そのアサガオの育ちを、雨戸を開けるときのだけなのですが、見ることにしました。

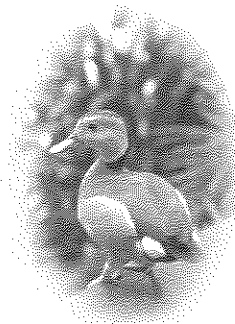
次の日、アサガオのつるは、もう二階にきていました。わたしが見ることにしたときから、つるは二階の少し手前まできていたのです。けれどこ

こまで育つとは思っていませんでした。小さいころ植物をあまり知らなくて、生き物かどうかわからないときが、ありました。どうやって息を

しているのだろうか、いつ成長しているのだろうか、そういうことを思つているとき、アサガオを見てほとんど育つのがわかつて「本当に生きてる。」となつとくしていました。そんなこともあって、アサガオが好きになりました。何日目に雨戸を開けたとき、つるが今にも部屋に入りこもうとしていました。初めは、小さい種だったのに、こんなに大きくなるなんて、思つてもいませんでした。

日野市に多くの緑を残すには、種を植えただけでも、みんなが緑を大切にしなければ、せつかく育てても、植物にとつては、うれしくないと思つます。たぶん気持ちをもって植物を育てていくほうが、たくさんの緑が生まれるかもしれません。そして自分が植物を育てていなくても、大切に育てていなくても、大切に育てていこうと思つます。たとえだめでも、最後まであきらめずに、もう一度チャレンジしようと思つます。

切に思つます。わたしも緑を大切に思つます。わたしも緑を大切に思つます。わたしも緑を大切に思つます。



## 緑の写真展作品募集中

日野の自然がみせる四季折々の姿をカメラにおさめてみませんか。

●テーマ1 「日野の四季」  
市内の緑や緑のある生活風景など

▽サイズ Ⅱ カラープリント四ツ切(ワイド四ツ切も可)

▽規定 Ⅰ ①作品は未発表のもので1人3点まで(単写真)

②作品の裏面に題名、撮影年月日、撮影場所、住所、氏名、電話番号を記入してください。

●テーマ2 「わが家のみどり」  
日頃かわいがっている草花や記念に植えた庭木、可愛い庭など、わが家の緑を撮った写真。  
応募写真にお便りか、ちょっとした説明をそえてください。  
▽サイズ Ⅱ サービス判以上六ツ切りまで

※応募方法 Ⅱ どちらも11月6日(月)までに(財)日野市環境緑化協会(〒191-0016 日野市神明2の13の1)へ持参か郵送  
▽問合せ先 Ⅱ (財)日野市環境緑化協会 ☎585-4740

## 街角だより

昨年、豊田の村野さんから緑化協会に、「区画整理で埋めてしまうのは、かわいそうなので、ヒガンバナを何処かに植えてくれないか」との話があった。  
早速伺うと、花はもうなかったが、畑の縁に、株が重なるようにあった。大方掘り出して、市民の森スポーツ公園の小山の上に球根を植え替えておいた。  
ヒガンバナは日野市によく似合う花だ。昔から、田圃の



畔に、花火のような朱色の花弁をつけて、川のように延々と咲いて楽しませてくれる。

## 「緑の募金」結果のお知らせ

今年の緑の募金は、多くに方々のご尽力により、多大な成果を上げることができました。これも自治会、老人クラブ、各事業所等の皆様の緑化に対する深いご理解とご協力によるものです。厚くお礼申し上げます。

### 募金総額

一三三九万五千二六九円

### 内訳

- 自治会 一〇五万七千一五六円
- 老人クラブ 一五万一千三一九円
- 公立学校 二万八千一四一円
- 私立幼稚園・保育園 三万六千一九九円
- 団体・事業所 七十七万七千六三〇円
- 一般・街頭募金 二万二千八五〇円
- 市役所機関 一万一千九七四円

## サクラ植樹

昨年度の「サクラ植樹募金運動」には、本当に多くの市民、団体、事業所、協賛団体の皆様に大変な協力をいただきました。2月27日には、日野橋下流の堤防敷に、無事、10本のサクラの苗木を植樹することができました。

### ▽募金総額

二二二万六千二七二円

### ▽支出金額

九九万三千二八二円

内訳(整備工事委託費ほか) 八八万二千元

### ▽繰越金

二二二万三千八九〇円

## 臨時職員募集

(財)日野市環境緑化協会が働く62歳までの臨時職員を募集します。

▽勤務日 Ⅱ 平成13年4月から9月末日まで、週5日勤務

▽内容 Ⅱ 公園清掃、花壇の植付け、行事の準備など

▽対象 Ⅱ ①植物に詳しい人。②運転のできる人。③健康な人。

▽募集人員 Ⅱ 若干名

▽応募方法 Ⅱ 12月18日(月)までに履歴書を(財)日野市環境緑化協会まで持参

## 編集のあとに

▼会報に広告の掲載を希望される事業所を募集しております。詳しくは、当協会(☎585-4740)まで、お問い合わせ下さい。

▼花壇の花をとらないで！  
市内の花壇やプランターに植えた花が、心ない人に持ち去られ、困っております。

花はみんなで観賞するため植えたものです。せっかく植えた花をどうか大切にして下さい。